

7月の野菜の見通し

令和4年6月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	7,240	並み	7,909	90	100%	95	0	0.0%	青森・北海道で干ばつ傾向だったものの、6月には降雨あり生育は順調推移となった。北海道産の数量がまとまって出るのは7月中旬以降。予想入荷量は前年並み～平年並み。見通し単価は前年並みで平年をわずかに下回る。
キャベツ	17,314	多い	16,553	71	99%	81	-	-	群馬・岩手産ともに生育順調。コロナ禍での労働力不足も概ね解消されたことから、予想入荷量はやや多かった前年並み～平年をやや上回る。需要はありながらも全体量多く、相場は軟調傾向か。見通し単価は前年並みで平年を1割下回る。
ねぎ	3,521	並み	3,528	316	117%	375	11	0.3%	茨城・千葉産中心の出回り。傷みが多い状況かつ、トンネル作から露地作への切り替わりで価格はやや高めで推移。中旬からは東北・北海道産が増え始めると学校給食の需要もなくなり相場は軟化する気配。予想入荷量は前年・平年並み。見通し単価は前年を1割以上上回るも平年並み。
きゅうり	8,177	多い	7,220	202	134%	301	442	5.4%	関東産が上～中旬に切り上がり東北産がピークへ。梅雨の影響で少なめと思われたが関東産がまずまずの数量あり、多いまま推移の気配もあり。予想入荷量は多かった前年を下回るも平年並み。見通し単価は前年を3割上回るも平年比では1割近く下回る。
トマト	8,005	並み	7,825	321	93%	319	286	3.6%	北海道・東北産が中心となる。夜温低く生育はやや遅れ気味ながら、中旬からは出荷ピークとなり相場軟化の気配。予想入荷量は前年～平年並み。見通し単価は前年・平年をやや下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果㈱)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)